

Minpaku Toy Expo: The Antique Toy Collection
"Tangible Folk Cultural Property of Osaka Prefecture"

宮城県内の4会場で
巡回展を実施します

東日本大震災復興特別企画

大阪府指定有形民俗文化財 時代玩具コレクション

みんなく おもちゃ 博覧会



会期 2014年10月11日(土)~11月30日(日)

会場 東北歴史博物館 特別展示室
宮城県多賀城市高崎1-22-1 TEL:022-368-0106

開館時間 9:30~17:00 (発券は16:30まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合はその翌日)

観覧料 一般 400円 (20人以上の団体は320円)
小・中学生・高校生 無料

主催: 国立民族学博物館 東北歴史博物館
共催: 岩沼市教育委員会 石巻市教育委員会 石ノ森萬画館 気仙沼市教育委員会
協力: 国文学研究資料館 国立歴史民俗博物館 株式会社気仙沼産業センター
後援: 大阪府



JR線をご利用の方
●JR東北本線(仙台駅から14分)「国府多賀城駅」隣り
●JR仙石線
「多賀城駅」下車 徒歩25分または タクシー約10分
お車をご利用の方
●仙台東部道路「仙台北IC」から約10分
●仙台北部道路「利府しらかし台IC」から約15分
●国道4号線苦竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
●仙台港フェリーターミナルから15分
●無料駐車場(191台・大型バス10台)

みんなく おもちゃ 博覧会



国立民族学博物館（みんなく）とは
大阪の万博記念公園内にある世界の文化を紹介する世界最大級の民族学博物館です。展示場を一周すると世界一周旅行をしたような時間を過ごせます。

住所：大阪府吹田市千里万博公園10-1 TEL：06-6876-2151

本展示は、平成25年に大阪府より国立民族学博物館に寄贈された大阪府指定有形民俗文化財「時代玩具コレクション」を用いて企画したものです。本コレクションは、江戸時代から平成にかけての日本の玩具史を網羅しているものであり、国内の玩具コレクションのなかでも大規模なものとなっています。

明治時代、日本で玩具専門店が開店しはじめ、外国の玩具をもとにした国産玩具が盛んに製造されるようになりました。そして、第一次世界大戦の影響でヨーロッパにおける玩具の生産が不調になると、国産玩具の生産が盛んになり、世界有数の玩具生産国へと成長しました。その後、関東大震災や、第二次世界大戦の影響で一時的に玩具の生産は低調になりますが、電動玩具などの発明で、1960年代には世界第1位の輸出玩具の生産量をほこるようになり、再び世界有数の玩具生産国へと成長します。そして、現在でもさまざまな玩具が製造されています。

本展示では、ブリキ製玩具、ボード玩具（盤上玩具）、マスコミ玩具、カード玩具（絵札玩具）の4つのコーナーから近現代日本の世相を概観していきます。これらの玩具は、皆様の思い出を色鮮やかによみがえらせてくれると思います。どうぞ、お楽しみください。

宮城県内の4つの会場で 巡回展を実施します。

巡回展では、国立民族学博物館で展示した約200点の資料を①～③の会場に分けて展示します。その後、④東北歴史博物館ですべての資料を展示します。

スタンプラリー

①・②・③（②・③・④）のうちカ所以上

+

④（⑦）東北歴史博物館

を押印されたお客様には、プレゼント（みんなくオリジナルグッズ トーテムボール鉛筆）をさしあげます！

① 会場 岩沼市民図書館 ふるさと展示室

宮城県岩沼市二木2-8-1

会期 2014年9月11日（木）～10月5日（日）

開館時間 10:00～17:00 休館日 月曜日 観覧料 無料

② 会場 石巻市「まんがる堂」2階オープンギャラリー

宮城県石巻市中央2-5-7

会期 2014年9月12日（金）～9月21日（日）

開館時間 10:00～17:00 休館日 火曜日 観覧料 無料

③ 会場 気仙沼「海の市」2階オープンスペース

宮城県気仙沼市魚市場前7-13

会期 2014年9月13日（土）～9月23日（火）

開館時間 9:00～17:00 休館日 なし 観覧料 無料

④ 会場 東北歴史博物館 特別展示室

宮城県多賀城市高崎1-22-1

会期 2014年10月11日（土）～11月30日（日）

開館時間 9:30～17:00（発券は16:30まで）

休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日） 観覧料 一般 400円（20人以上の団体は320円）
小・中学生・高校生 無料

ス

タ

ン

+

プ

東北歴史博物館でスタッフにお声がけください。プレゼントをお渡しいたします。

大学は



宝箱!



京都・大学ミュージアム連携の底力
出開帳 in 東北



会期 11月1日土から11月30日
会場 東北歴史博物館
〒985-0862
宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL: 022-368-0106 FAX: 022-368-0103

入館料 常設展観覧料でご覧いただけます

一般 400円(320円)

高校生以下 無料 * (内は20人以上の団体料金)

開館時間 9時30分から17時(発券は16時30分まで)

休館日 祝日を除く月曜日と11月4日(火)、25日(火)

京都・大学ミュージアム連携 東北歴史博物館
University Museum Association of Kyoto TOHOKU HISTORY MUSEUM



企画: 京都・大学ミュージアム連携合同展覧会実行委員会 主催: 京都・大学ミュージアム連携
共催: 京都・大学ミュージアム連携参加校、東北歴史博物館、東北学院大学博物館、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
助成: 「京都・大学ミュージアム連携」による地域文化活性化プロジェクト(2014年度文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)
HP: <http://www.thm.pref.miyagi.jp/> (東北歴史博物館) <http://univ-museum-kyoto.com> (京都・大学ミュージアム連携)

大谷大学博物館
京都外国語大学国際文化資料館
京都教育大学教育資料館
まなびの森ミュージアム
京都工芸繊維大学美術工芸資料館
京都嵯峨芸術大学附属博物館
京都市立芸術大学芸術資料館
京都精華大学ギャラリーフーロル
京都造形芸術大学芸術館
京都大学総合博物館
同志社大学歴史資料館
佛教大学宗教文化ミュージアム
立命館大学国際平和ミュージアム
立命館大学アート・リサーチセンター
龍谷大学龍谷ミュージアム
東北学院大学博物館
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館



大学は宝箱!

京都・大学ミュージアム連携の底力

出開帳 in 東北

ごあいさつ

京都・大学ミュージアム連携は、2011年に文化庁文化芸術振興費補助金「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」の助成を受けて、京都の大学ミュージアムが収蔵する文化遺産をひろく展示・公開することにより、京都という地域の文化的特性を示すとともに、京都文化を活性化することを目的として成立しました。

京都は「大学のまち」と呼ばれることがありますが、じつは「大学ミュージアムのまち」と言ってもよいほどに、多くの大学ミュージアムが、それぞれの個性を競いながら活動を続けています。その各大学ミュージアムが力を合わせて、より強力な活動をして、各館の活動や収蔵資料の魅力を知らせていただき、京都の新しい魅力を感じ取っていただきたいと考えて、活動をはじめました。

2012年度に実施した京都・大学ミュージアム連携合同展覧会「大学は宝箱! 一京の大学ミュージアム収蔵品展」は、マスコミにも多く取り上げられ社会的注目を集めるとともに、全国の各都市における大学ミュージアムからも注目を集めました。2013年度には、九州産業大学美術館のご協力のもと、福岡市内にある九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館および佐賀大学美術館と京都・大学ミュージアム連携との合同展覧会を九州産業大学美術館で開催し、地域を越えた大学ミュージアムの交流を実現しました。

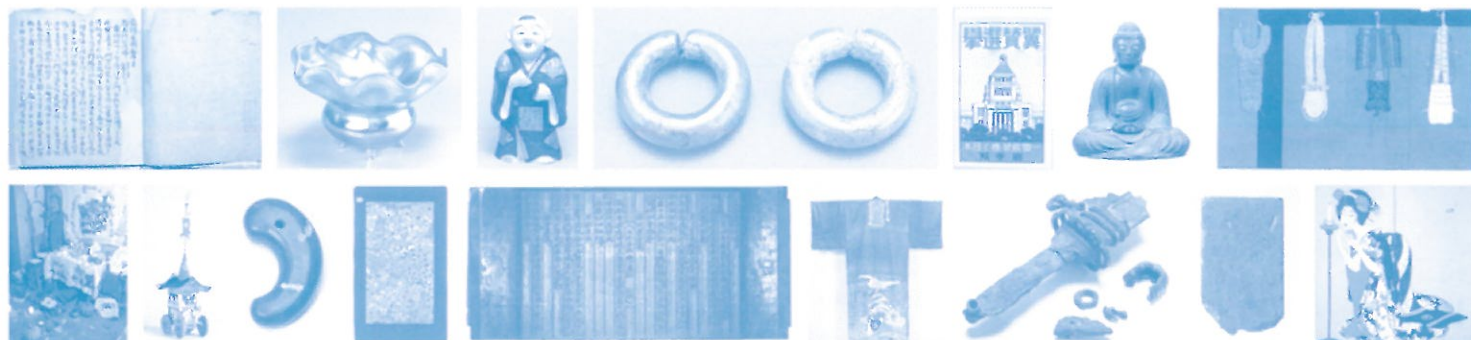
これにより、京都文化の多様性を九州地方にも伝えることができ、同時に京都の地域文化の活性化にもつながりました。

今年度は、東北歴史博物館および東北学院大学博物館、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館のご協力を得て、京都・大学ミュージアム連携合同展の場を東北に求め、本連携の事業とその意義、そして京都の大学ミュージアムが収蔵する多彩な考古歴史資料、美術工芸資料をより多くの方々に知っていただきたいと考えています。大学ミュージアム連携の輪をさらに広げることにより、それぞれの館の活動や収蔵品の数々を多くの皆様楽しんでいただきたいと思います。

出品作品は、各大学ミュージアムがそれぞれの収蔵品のなかから選んだ約140点であり、全体はおおきく三部から構成されます。

第I部は、各大学ミュージアムの代表的な収蔵資料であり、大学の個性を示し、同時に美術的、歴史的にも価値の高い「大学の宝物」です。第II部は、京都の大学ならではの、京都の歴史や文化、美術工芸の発展などを伝える作品、資料類を「京都の歴史と暮らし」として展示します。そして、第III部は、京都と東北、各大学ミュージアムと東北との関係を示す作品、資料を展示する「東北との絆」です。

京都と東北の新しい絆をお楽しみ下さい。



関連企画

シンポジウム

「アクティヴにまなぶ大学生たちの力」

いま、大学生が主体となった諸活動が、地域に活気をもたらしています。その活動範囲はますます広がりをみせています。まちづくりのための地域の魅力発見や、地域活性化のためのイベントの企画、伝統文化の継承活動、子どもたちの居場所づくり、そして被災地の文化面での復興…。地域のさまざまなアクターとの連携は、大学生の社会性を磨くことにつながりますが、なによりそこで発揮される新しい発想と企画・実践力は、地域に新しい風を吹き込むことがあります。

今回のシンポジウムでは、京都と東北の大学による大学ミュージアムを拠点とした活動から、アクティヴにまなぶ大学生たちの力の可能性と課題について議論します。

開催日時：2014年11月1日(土) 13:30～(開場13:00)

開催場所：東北歴史博物館3階講堂

パネリスト：岩崎 奈緒子(京都大学総合博物館 教授)
加藤 幸治(東北学院大学博物館 准教授)
芳野 明(京都嵯峨芸術大学附属博物館 館長)

■会場

東北歴史博物館

住所：〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1

TEL：022-368-0106 FAX：022-368-0103

HP: <http://www.thm.pref.miyagi.jp/>

E-mail: thm-service@pref.miyagi.jp

■アクセス

●JR線をご利用の方

JR東北本線(仙台駅から14分)

「国府多賀城駅」となり

JR仙石線「多賀城駅」下車 徒歩25分

●お車をご利用の方

仙台東部道路「仙台港北IC」から約10分

国道4号線竹インターから

国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)

仙台港フェリーターミナルから15分

無料駐車場(191台・大型バス10台)

■京都・大学ミュージアム連携について

京都・大学ミュージアム連携運営委員会事務局

住所：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

(京都工芸繊維大学美術工芸資料館内)

TEL：075-724-7924 FAX：075-724-7920

HP: <http://univ-museum-kyoto.com>

E-mail: question-univ-museum-kyoto@kit.ac.jp

